

## トイレの臭い解決の手引き-1

毎日そうじをしているのに、臭いがとれないという悩みをよく聞きます。また、トイレには臭いがつきものと、あきらめている方もいらっしゃいます。しかし水洗トイレは本来、汚物を流して、臭いを排出すれば、不快臭はまったく残らないようにできています。原因を取り除くことで、週一回程度の簡単なそうじだけでまったく臭いのしないトイレに生まれ変わります。

### 原因のランキングと解決法

#### 第1位 男性の尿の飛び散り

トイレの臭いの最大の原因は、男性の小便の飛び散りによるものです。洋式便器でも小便器でも立ってする場合は、的はずしたり、細かいしぶきがまわりに飛び散っています。立ってする場合は、的はずし、飛び散り、ポタ落ち、跳ね返りなどがありますが、特に床置型小便器の場合は霧を吹いたようなしぶきが床・壁・天井に舞い散っています。

最近、洋式便器に座ってする男性が増えてきましたが、ズボンを下げるわずらわしさや前方を汚す場合があります、少々無理があるようです。

飛び散らないように細心の注意をするしかありませんが、飛び散りを防ぐ補助具（天使のひざ枕）も発売されています。詳しいことは当社のホームページの「快適 らいふ研究所」をご覧ください。

#### 第2位 下水の臭いの逆流

トイレの臭いには、排泄物の臭いや尿のアンモニア臭とは別に、下水の臭いが逆流してくる場合があります。いちばん多いのが、洋式便器の配管接続部分の不備によるものです。便器本体の排水管と床下排水管の接続を入念に施工しないと、微細なすき間が生じることがあります。

下水臭を感じた場合は、便器の底と床の間のコーキングをやり直すことによって、ほとんどの場合止めることができます。

#### 第3位 換気方法のまちがいと勘違い

多くのお宅が、用を足した後にトイレの窓を開けているようです。その結果、外から風が入り込み、臭いを室内側に流入させてしまいます。臭いを外に出すために窓を開けたのに、逆に臭いを室内に入れてしまうというまちがいと勘違いです。

トイレに換気扇があっても、ドアにガラリあるいはアンダーカットがなく、結果的に換気が効いていない場合も多いようです。換気扇は空気を外に出そうとしても、別のところから新たな空気が入ってこなければ出すことができません。必ず、ガラリあるいはアンダーカットが必要になります。

また、換気扇の掃除を忘れている場合も多いようです。台所の換気扇は汚れが目立つので定期的に行いますが、トイレの場合、忘れてしまいほこりが詰まっている場合もあります。(次ページにつづく)